

## 今日のトピック 業績予想が上振れる米国株式市場

# 米国株式市場は業績改善が下支え

### ポイント1 上値の重い展開が続く 割高感はない

- 米国株式市場は上値の重い展開が続いています。足元では、トランプ大統領が米中通商交渉に満足していないことや米朝首脳会談の開催が不確実となったことなどが、投資家のセンチメントを後退させました。
- ただ、予想利益などは極めて好調です。米大統領選挙があった2016年の平均値よりも予想利益水準は約32%高く、予想株価収益率は16.2倍と2016年平均の16.6倍を下回っており、割高感はありません。

### ポイント2 値を戻す情報技術セクター 年初来の上昇率は+9.8%

- こうした中、年初から5月29日までの騰落率を見ると、S&P500種指数が+0.61%であるのに対して、情報技術セクターは同+9.8%と、セクター別では最も高い上昇率となっています。情報技術セクターは3月12日の史上最高値(1,233.97) 近くまで値を戻していますが、上値を更新するには至っていません。

### 今後の展開 業績予想の上振れが支え

- トムソン・ロイター（5月29日）によれば、S&P500採用企業の2018年予想増益率は前年比+22.0%と、4月末時点（同+20.2%）よりも上振れました。特にエネルギーセクターは4月の同+75.3%から5月は同+90.8%と大きく上振れました。他には、情報技術セクター（同+18.5%⇒同+21.6%）と一般消費財セクター（同+16.7%⇒同+19.4%）の上方修正が目立ちました。
- リビジョン・インデックスに示されるように、業績予想の上振れが続いています。トランプ大統領の保護貿易政策や、地政学リスクの高まりが引き続き懸念されますが、業績予想の上振れが米国株式市場を支えると期待されます。

### ここも チェック!

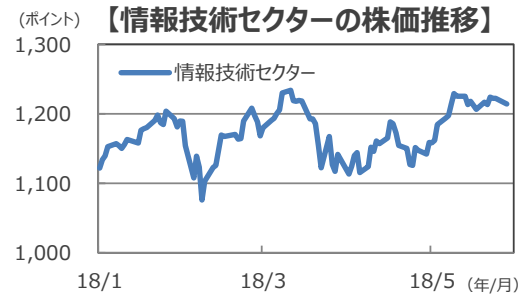
2018年5月29日 米国経済と長期金利の見通し（2018年5月）

2018年5月22日 金融市場の変動要因を整理 金融市場は落ち着きを取り戻そう

■ 当資料は、情報提供を目的として、三井住友アセットマネジメントが作成したものです。特定の投資信託、生命保険、株式、債券等の売買を推奨・勧誘するものではありません。■ 当資料に基づいて取られた投資行動の結果については、当社は責任を負いません。■ 当資料の内容は作成基準日現在のものであり、将来予告なく変更されることがあります。■ 当資料に市場環境等についてのデータ・分析等が含まれる場合、それらは過去の実績及び将来の予想であり、今後の市場環境等を保証するものではありません。■ 当資料は当社が信頼性が高いと判断した情報等に基づき作成しておりますが、その正確性・完全性を保証するものではありません。■ 当資料にインデックス・統計資料等が記載される場合、それらの知的所有権その他の一切の権利は、その発行者および許諾者に帰属します。■ 当資料に掲載されている写真がある場合、写真はイメージであり、本文とは関係ない場合があります。

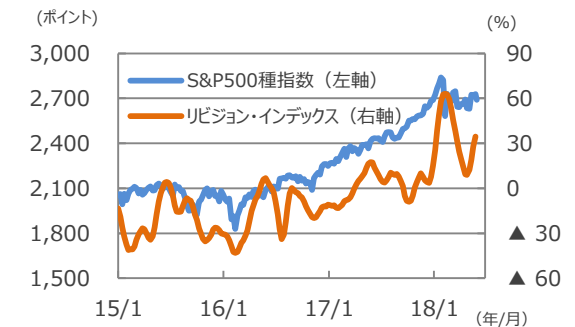


(注) データは2016年1月4日～2018年5月29日。予想株価収益率は株価÷1株当たり予想利益。1株当たり予想利益は12カ月先行 (Bloomberg L.P. 予想)。  
(出所) Bloomberg L.P. のデータを基に三井住友アセットマネジメント作成



(注) データは2018年1月2日～2018年5月29日。  
(出所) Bloomberg L.P. のデータを基に三井住友アセットマネジメント作成

#### 【S&P500種指数とリビジョン・インデックス】



(注) データは2015年1月1日～2018年5月29日。リビジョン・インデックスは2018年5月24日まで。4週間移動平均。リビジョン・インデックス = (上方修正企業数 - 下方修正企業数) ÷ 企業数。  
(出所) Datastream のデータを基に三井住友アセットマネジメント作成